

(下記は記載イメージですので、実際の事業の年度等を表すものではありません)

第28回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成27年10月

応募者名：東京都 建設局

事業の名称：東京都市計画道路幹線街路

環状第8号線整備事業

実施都市名：東京都 練馬区・板橋

事業目的

環状第8号線は、大田区の羽田空港を起点とし、世田谷、杉並などの各区を経由して、北区岩淵町までの延長44.3kmの都市計画道路です。都心から半径約13kmに位置する西側半分の環状道路であり、神奈川県、多摩地域、埼玉県から都心に向け集中する交通を分散する役割を担っています。

環状8号線の整備により、人や物の流れを円滑にし、また、周辺道路の交通渋滞の緩和による環境改善や地域の防災性の向上に寄与します。

事業概要

※今回応募対象事業は平成
26年度完了事業となります

事業名称：東京都市計画道路幹線街路環状第8号線

路線名：環状第8号線

事業箇所：杉並区井草三丁目～板橋区相生町

事業延長：4.4km

幅員：25～44.5m（4車線）

事業費：約1,400億円

事業実施期間：平成6年～平成26年※

本事業は、練馬トンネル（半地下式トンネル）約1.9km、練馬北町陸橋約0.4km、北町若木トンネル約0.6km、板橋相生陸橋0.7km及び平面街路0.8kmを整備したものである。

練馬区南田中の練馬トンネルでは、既存の長大トンネルを改良し、半地下式の練馬トンネルを接合する構造とした。これにより、本線（半地下式トンネル部）と側道（平面部）が上下に分散され、また自然換気方式を採用することで、側道環境に配慮した街路整備を行った。

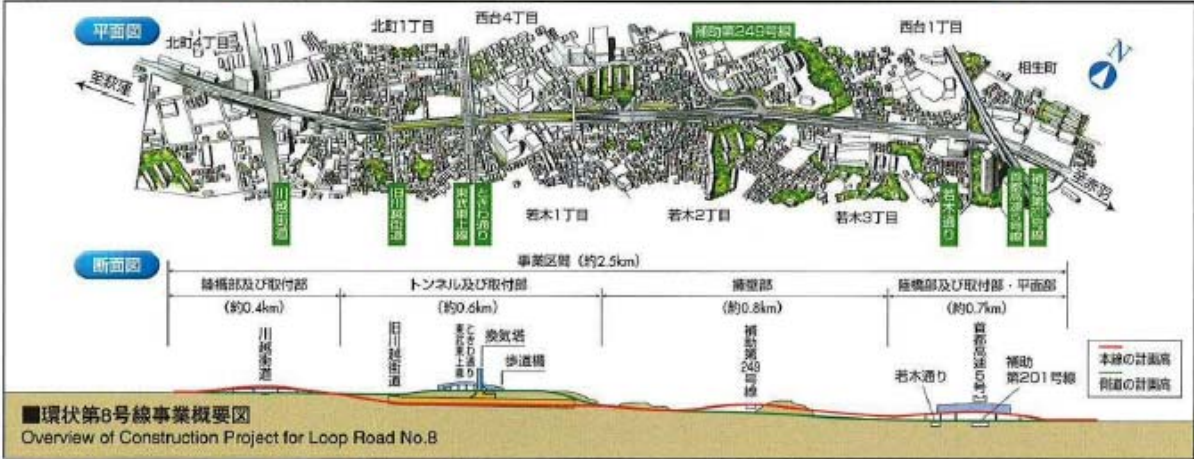
板橋区若木の板橋相生では、首都高5号線及び補助幹線街路第201号線との間に構築する三層立体構造となる。このため、大気汚染物質（NO_x、SPM）を除去する大気浄化施設及びシェルターを整備し、沿道の大気及び騒音の環境保全に配慮した構造とした。

側道の平面街路部は、全線で電線類の地中化と沿道緑化を進め、バリアフリーかつ緑豊かな歩行者空間を創出する街路整備を行う。

事業位置図

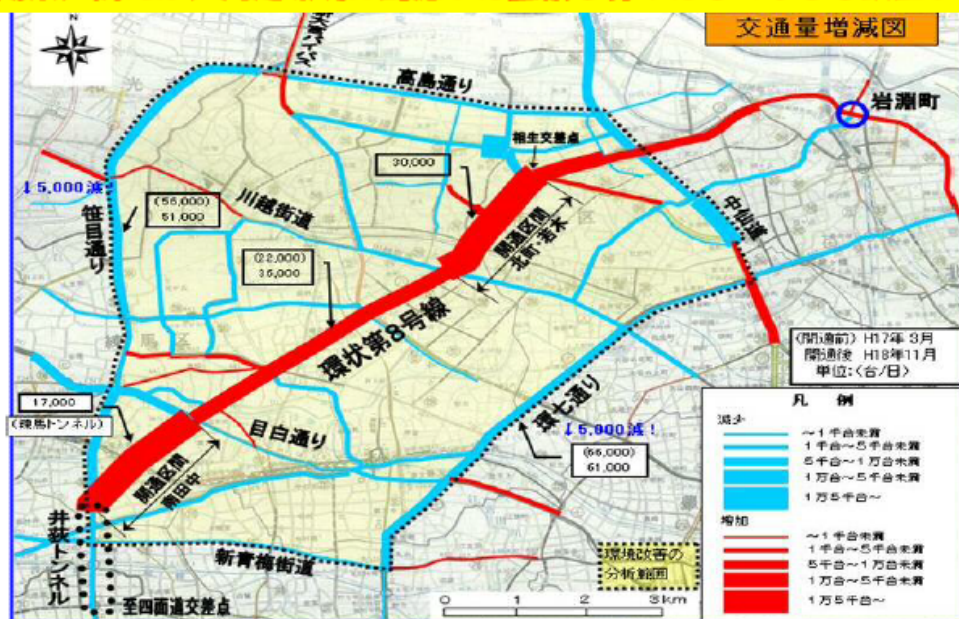


全体図（平面図・側面図・横断図）



環状第8号線の整備効果アピール資料

この1枚で事業の概要及び事業効果がわかるものを添付願います。
 なお、定量的な効果のみにとらわれるのではなく、事業を実施したことによる定性的な効果、例えば、周辺環境に配慮した整備を行ったものなども該当します。



○事業概要

事業名: 東京都市計画道路幹線街路
 環状第8号線整備事業
 路線名: 環状第8号線
 事業箇所: 杉並区井草三丁目~板橋区相生町
 事業延長: 4.4 km
 幅員: 25m~44.5m (4車線)
 総事業費: 約1,400億円
 事業期間: H6~H25年度

○交通量調査結果

供用前 平成17年3月3日実測

供用後 平成24年11月28日実測

交通量の推移

環8通り 22,000台→36,000台

環7通り 66,000台→61,000台 5,000減

笹目通り 56,000台→51,000台 5,000減

環7通り、笹目通りの交通量8~9%減少

その他周辺の交通量いずれも減少

なお、このページにおけるフォーマットは変更可といたしますが、背景は白地のまま変更不可で願います。

「整備効果」

○旅行速度の向上

環7通り 13.9 km/h→24.0 km/h

笹目通り 14.8 km/h→26.7 km/h

○所要時間の短縮

杉並区四面道→北区岩淵町

環7通り経由 77分→44分

笹目通り経由 73分→40分

○環8周辺の環境改善(推計値)

CO₂: 30.7万t/年→27.3万t/年(約11%)削減

SPM: 75t/年→53t/年(約29%)削減

「その他の事業効果」

周辺の環境に配慮し、法面には、植栽ブロックを施した。
 歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。

事業前写真

平成25年6月撮影



※違うアングルで複数枚添付願います
添付にあたっては、1シート内とし、
写真の大きさは自由とする。

平成〇年〇月撮影

平成〇年〇月撮影

事業前写真2

事業前写真3

事業後写真

平成27年4月撮影

※人や自動車等に利用されている事がよく分かる写真を添付願います。



※違うアングルで複数枚添付願います
添付にあたっては、1シート内とし、
写真の大きさは自由とする。

平成〇年〇月撮影

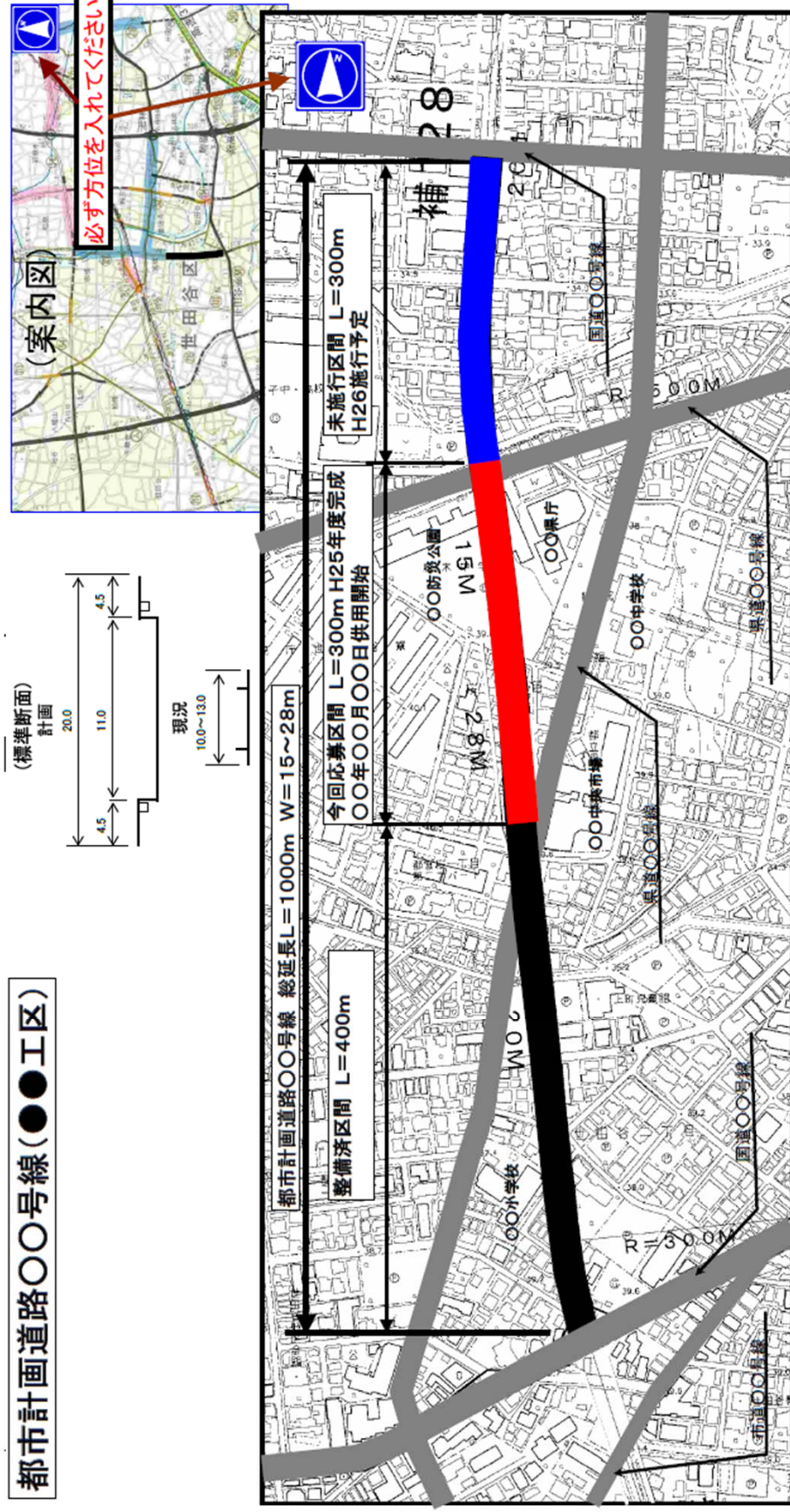
事業後写真2

平成〇年〇月撮影

事業後写真3

路 線 全 体 の 進 捗 状 況

都市計画道路〇〇号線(●●工区)



【作成の留意点】

- ① 今回応募した事業(都市計画道路)の路線全長を表示し、進捗状況の位置、規模、年次が分かるように表示する。(今回応募区間、施行済区間、未施行・計画調査区間等)
- ② ネットワークの形成が確認できるように接続する既設道路(国道、県道、市道、高速道路、鉄道等)を名称を表示する。
- ③ 整備効果に関連する目標物を表示する。(例：通学路⇒学校、緊急輸送路⇒防災避難場所・行院、アクセス向上⇒主要駅・IC、利便性向上⇒商業施設等)
- ④ 計画の標準断面及び従前の現況断面を表示する。
- ⑤ その他：作成例では、案内図と詳細平面図で記載していますが、上記の内容を記載すれば、案内図は不要です。(逆に案内図位の縮尺の広域的な図面に表示していただければ結構です。)

凡 例

- 今回応募区間
- 施行済区間(完成区間)
- 未施行区間(調査・計画区間)
- 既設道路